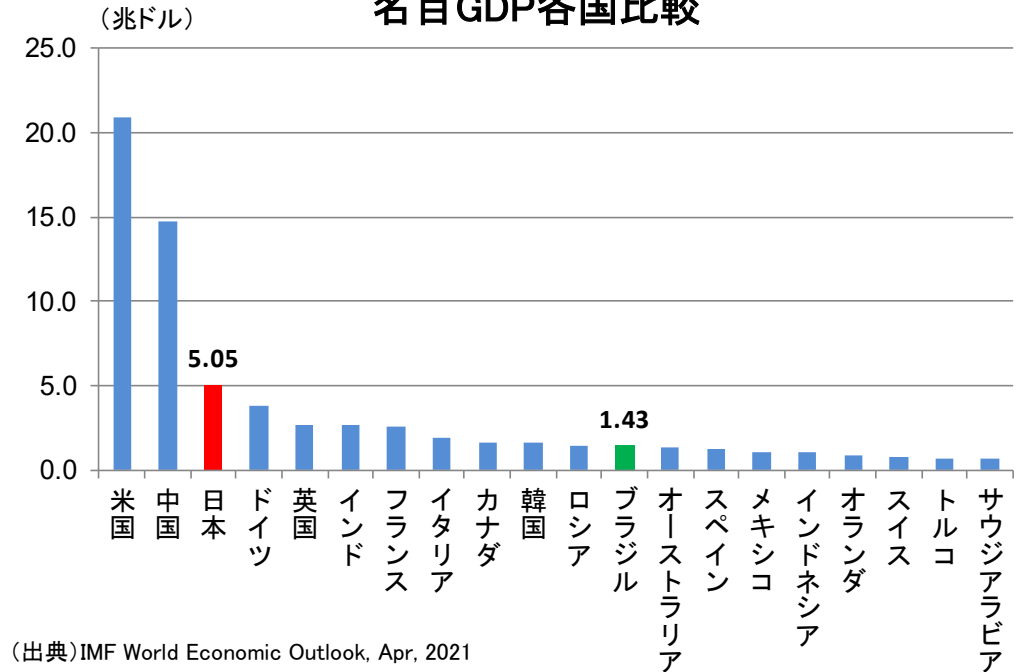


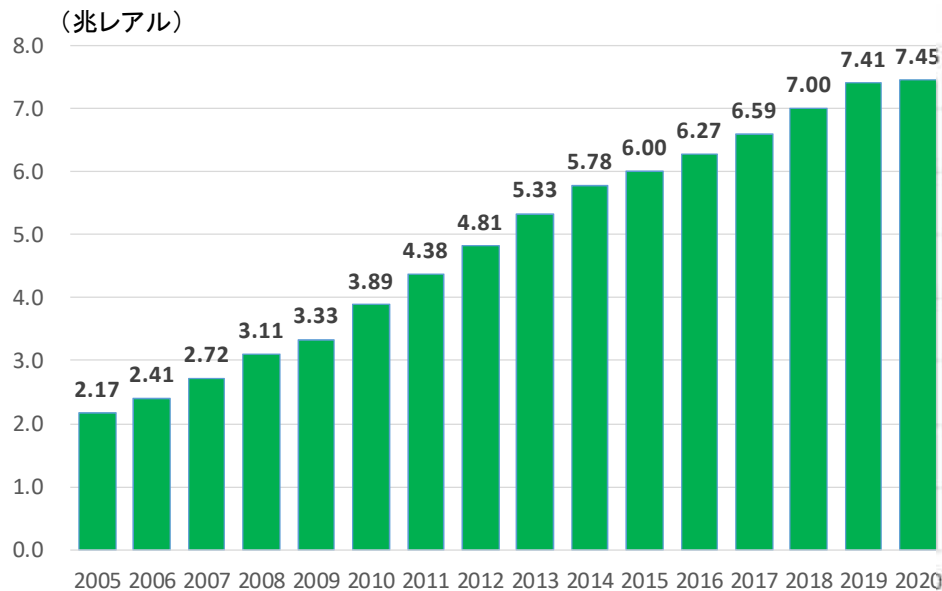
1. 経済構造

1. 人口約2億1,176万人、面積約851万km²(2020年)
2. 世界第12位の経済規模(名目GDP約1兆4,341億ドル(2020年):日本の約28%)。一人当たりGDP(約6,783ドル(2020年))は、日本の約17%。
3. 世界有数の農業・資源国であるが、産業別国内総生産(GDP)額では第三次産業(サービス業)が高いウェイトを占めている。
4. GDPを需要項目別でみると、家計消費や総固定資本形成(投資)といった内需が成長に寄与している。

名目GDP各国比較

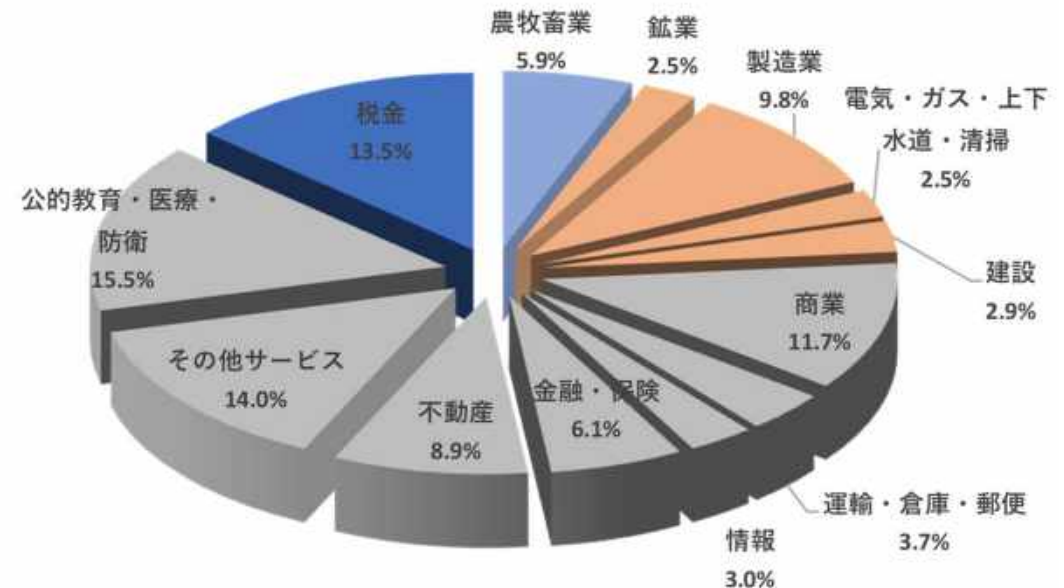


名目GDPの推移



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

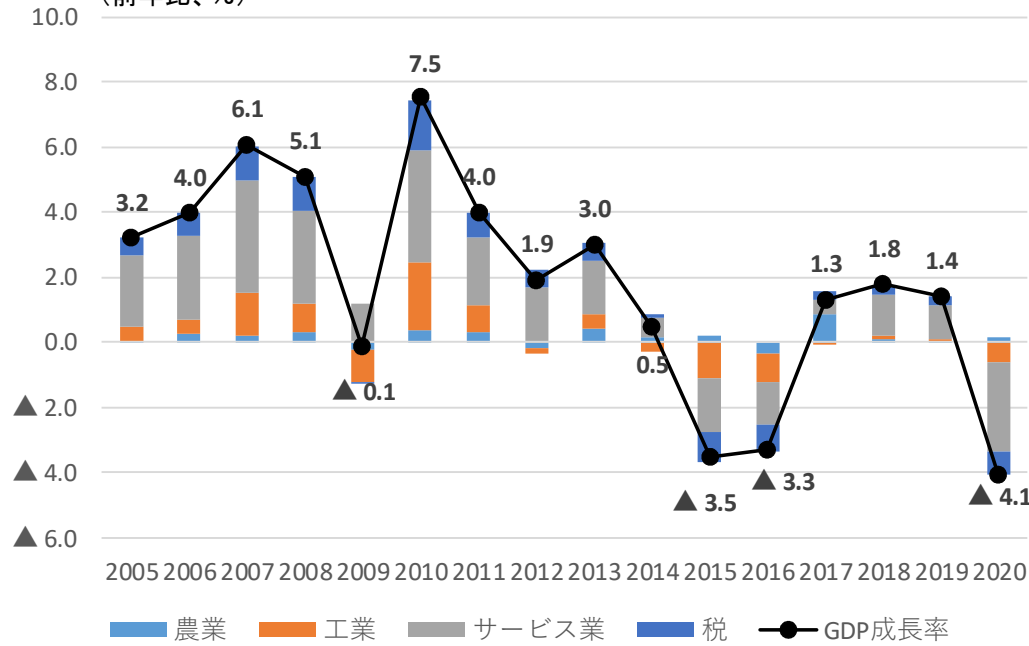
名目GDPの産業別構成比(2020年)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(暦年)

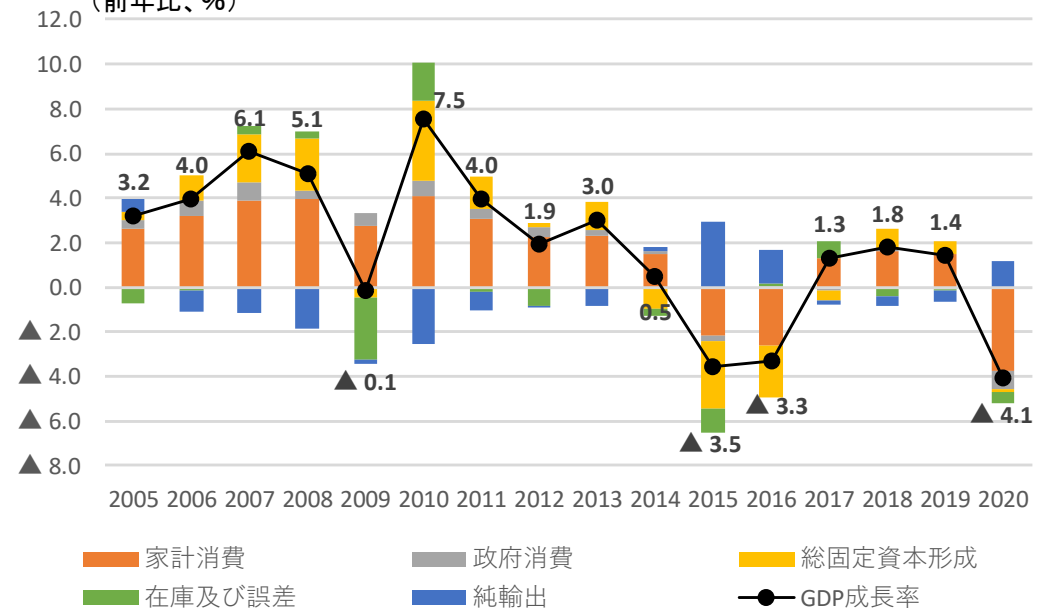
(前年比、%)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)、産業別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算

実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(暦年)

(前年比、%)

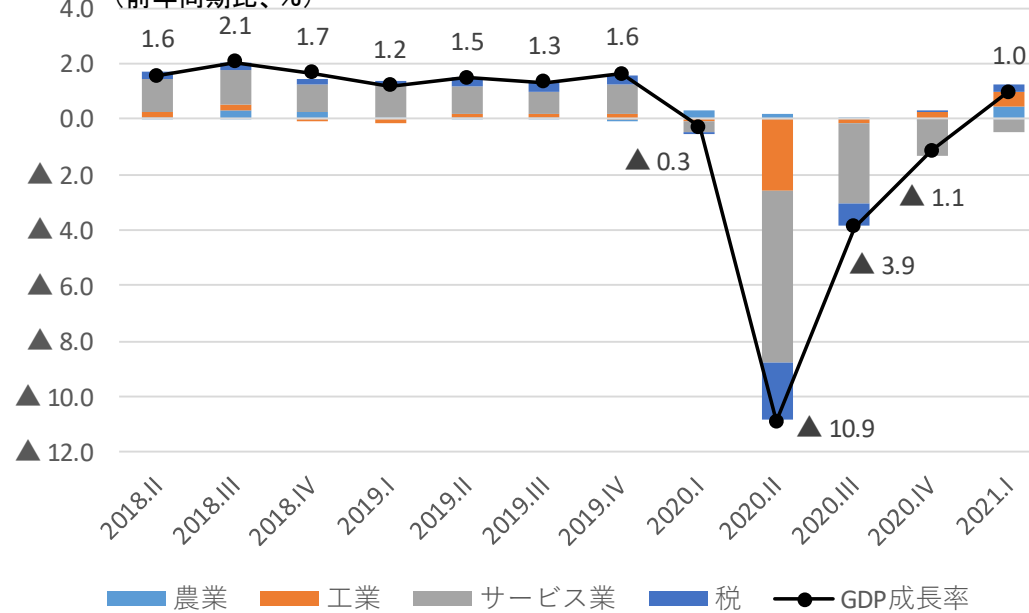


(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

※需要項目別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、在庫及び誤差はGDP全体から各需要項目を除いたもの

実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)

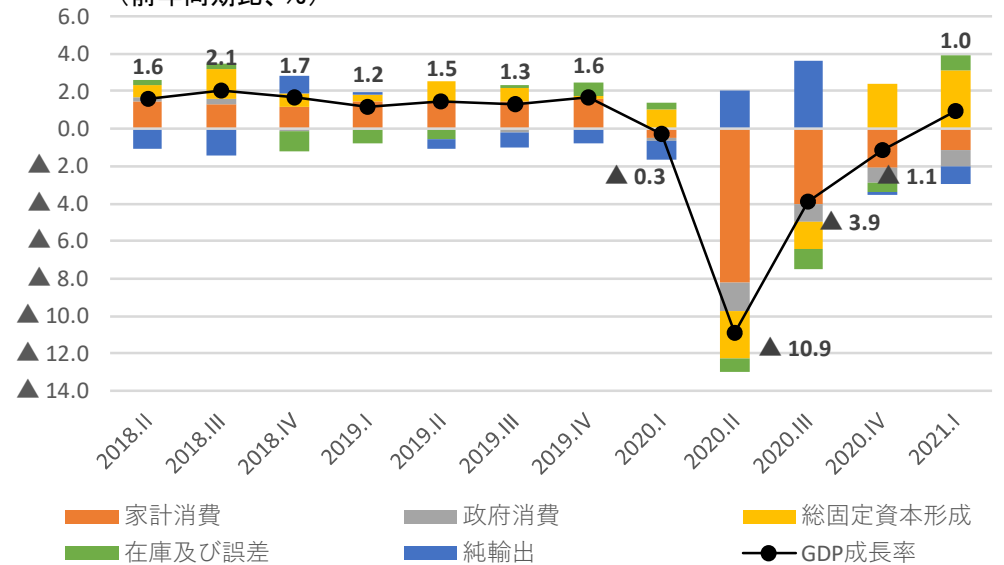
(前年同期比、%)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)、産業別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算

実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)

(前年同期比、%)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

※需要項目別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、在庫及び誤差はGDP全体から各需要項目を除いたもの

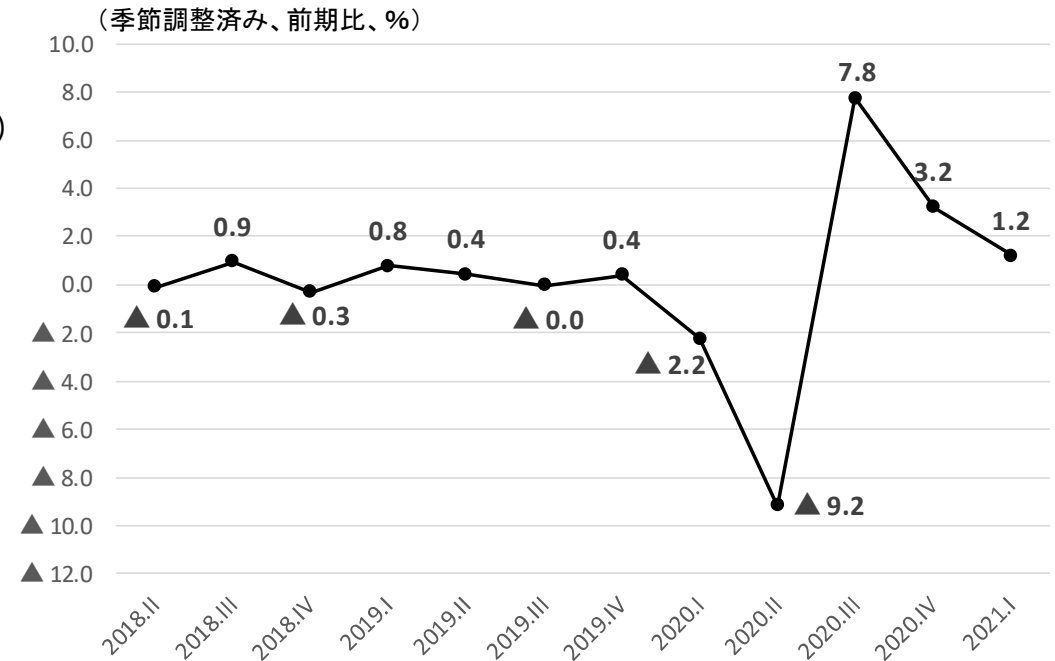
II. 経済の現状

ブラジル地理統計院 (IBGE) が6月に発表した2021年第1四半期のGDP成長率は、前期比+1.2% (3四半期連続のプラス成長)、前年同期比+1.0% (5四半期ぶりのプラス成長) となった。

	(%)	
2021年第1四半期	前期比 (2020年4Q)	前年同期比 (2020年1Q)
GDP	+1.2	+1.0
農業	+5.7	+5.2
工業	+0.7	+3.0
電気・ガス・水道・下水道	+0.9	+2.1
製造業	▲0.5	+5.6
建設	+2.1	▲0.9
鉱業	+3.2	▲1.3
サービス	+0.4	▲0.8
情報・通信	+1.4	+5.5
不動産	+1.0	+3.9
金融・保険	+1.7	+5.1
運輸・倉庫・郵便	+3.6	+1.3
商業 (卸売り・小売り)	+1.2	+3.5
行政、防衛、保険、教育	▲0.6	▲4.4
その他	+0.1	▲7.3
家計消費	▲0.1	▲1.7
政府消費	▲0.8	▲4.9
総固定資本形成	+4.6	+17.0
財・サービスの輸出	+3.7	+0.8
財・サービスの輸入	+11.6	+7.7

(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

実質GDP成長率の推移(四半期)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

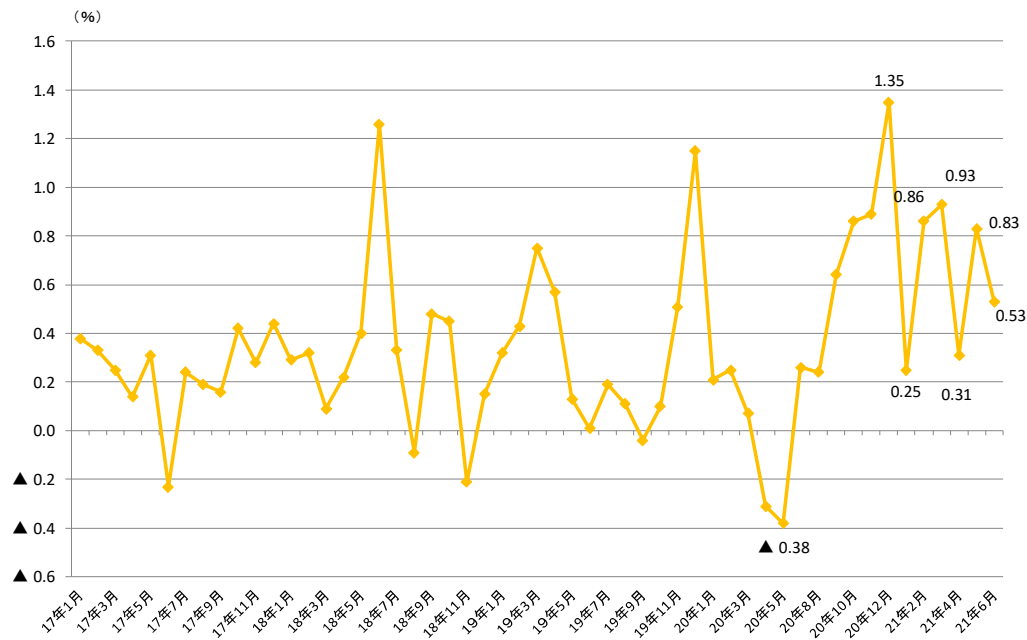
各機関による2021年のGDP成長率予測

世銀	+3.0% (2021年4月)	
IMF	+5.3% (2021年7月)	
伯経済省	+3.5% (2021年5月)	+5.3% (2021年7月)
伯中銀	+4.0% (2021年5月)	+4.6% (2021年6月)
伯中銀 Focus	5.3% (2021年7月30日)	

物価の動向

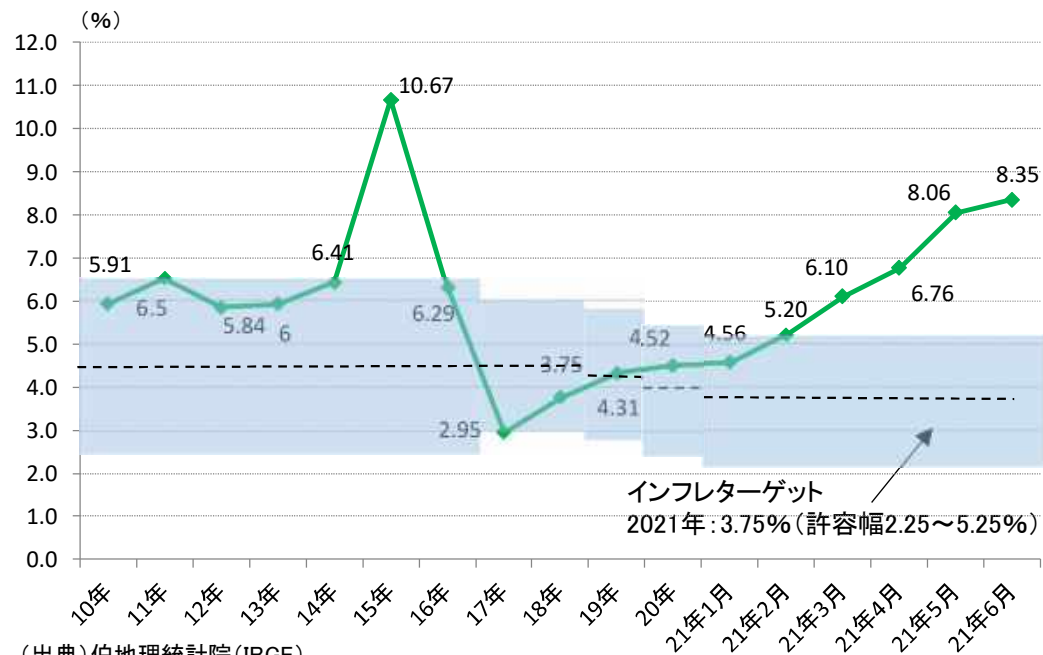
6月の拡大消費者物価指数(IPCA)は前月比+0.53%、直近12か月累計では8.35%となった。

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(各月)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(12か月累計)

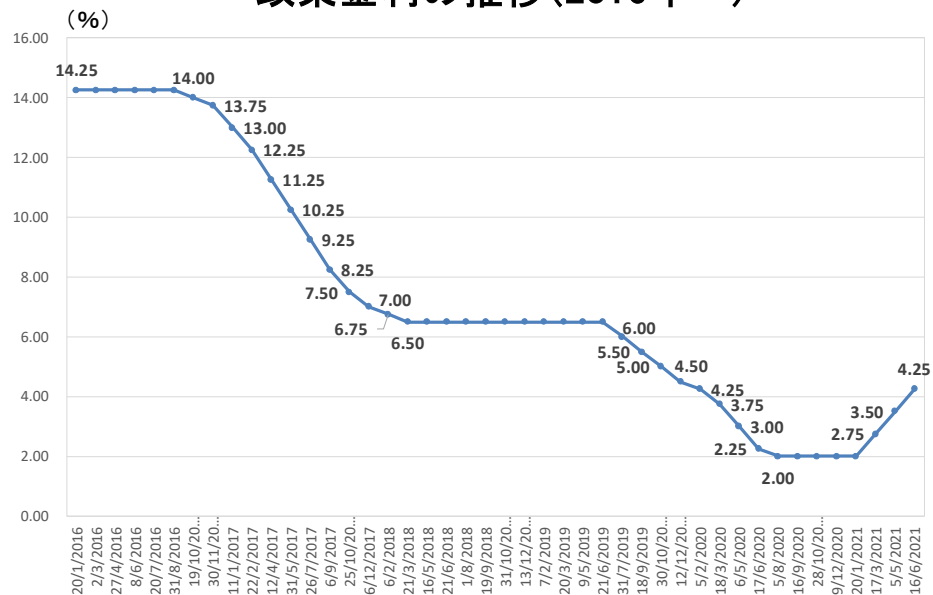


(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

政策金利

6月16日、伯中央銀行金融政策委員会(COPOM)は、政策金利(Selic)を0.75%ポイント引き上げて4.25%とすることを全会一致で決定した。政策金利の引き上げは3月、5月に引き続き3回連続。次回会合は8月3~4日に開催。

政策金利の推移(2016年~)

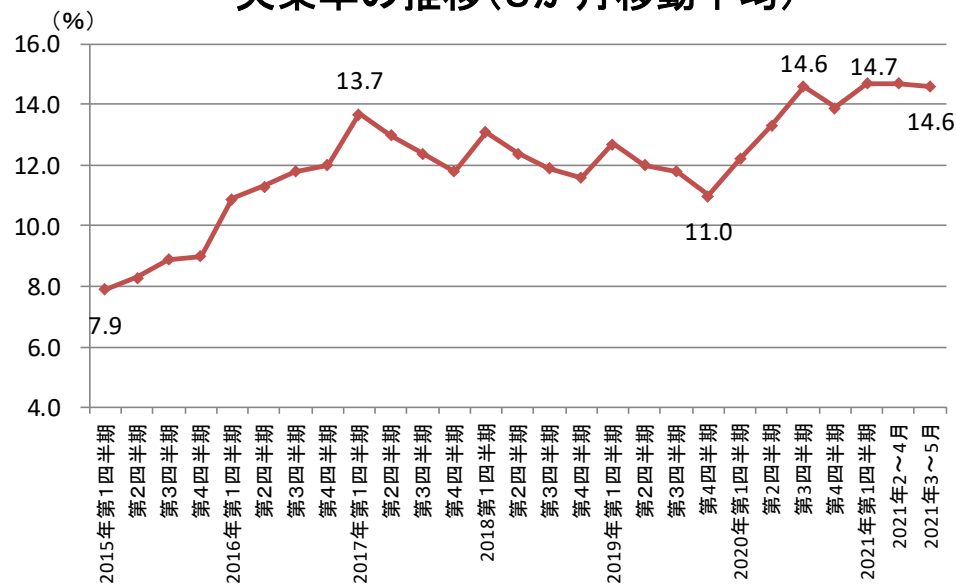


(出典) 伯中央銀行 4

労働市場、消費、生産の動向

- 失業率(2021年3~5月)は+14.6%となった。
- 小売売上高(5月)は前月比+1.4%、前年同月比+16.0%となった。
- 鉱工業生産(5月)は前月比+1.4%、前年同月比は+24.0%となった。

失業率の推移(3か月移動平均)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

小売売上高指数の推移(月次)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

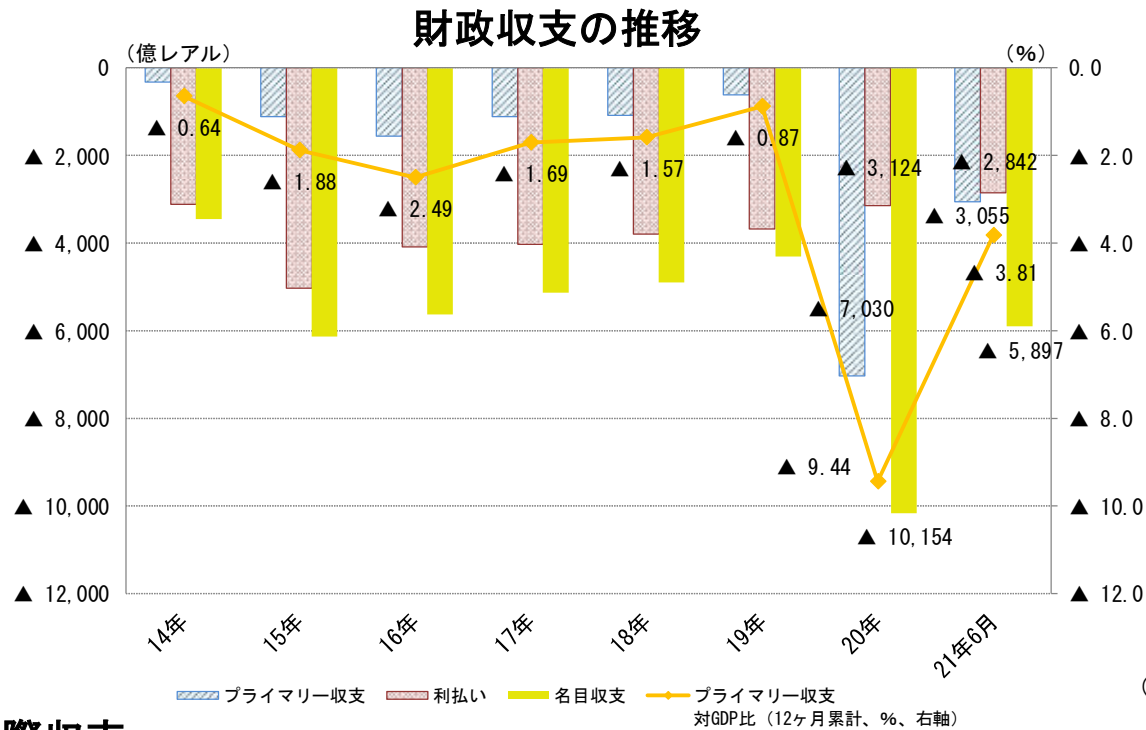
鉱工業生産指数の推移(月次)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

財政収支、国際収支の動向

2021年6月のプライマリーバランスは▲3,055億レアル、利払いは▲2,842億レアル、名目収支は▲5,897億レアルとなった。

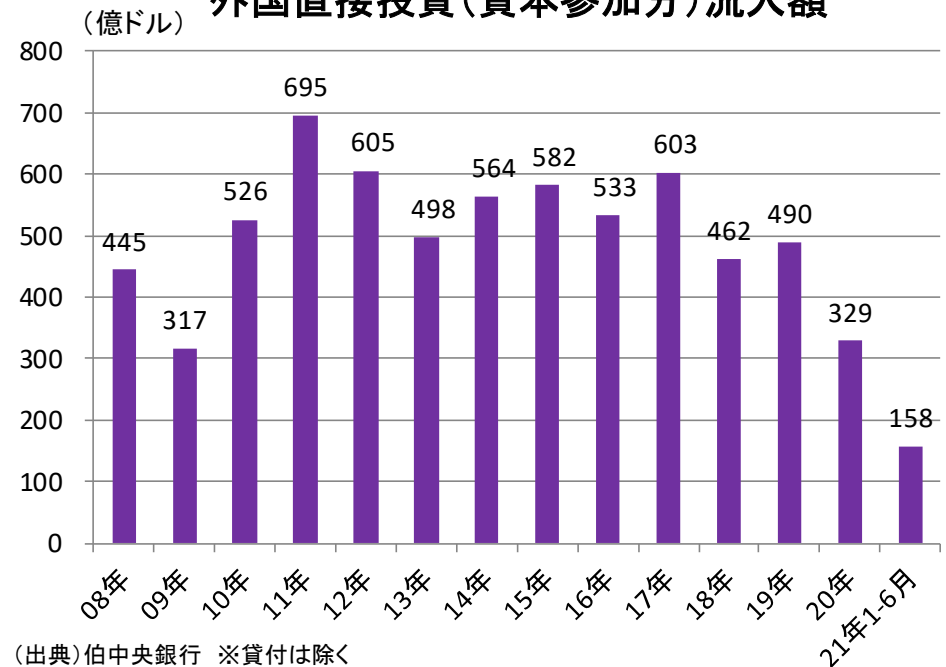


国際収支

	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年 1-6月
経常収支	△589	△235	△98	△145	△495	△259	△70
貿易収支	177	450	640	536	408	324	198
サービス・所得収支	△793	△715	△764	△706	△912	△606	△286
経常移転収支	27	29	26	25	10	23	18
資本収支	543	161	45	89	517	41	1
投資収支	547	164	49	93	520	▲186	▲87
直接投資	880	910	766	1024	1006	412	391
対外直接投資	135	128	63	141	221	▲35	134
対内直接投資	745	782	703	883	786	447	257

(出典) 伯中央銀行

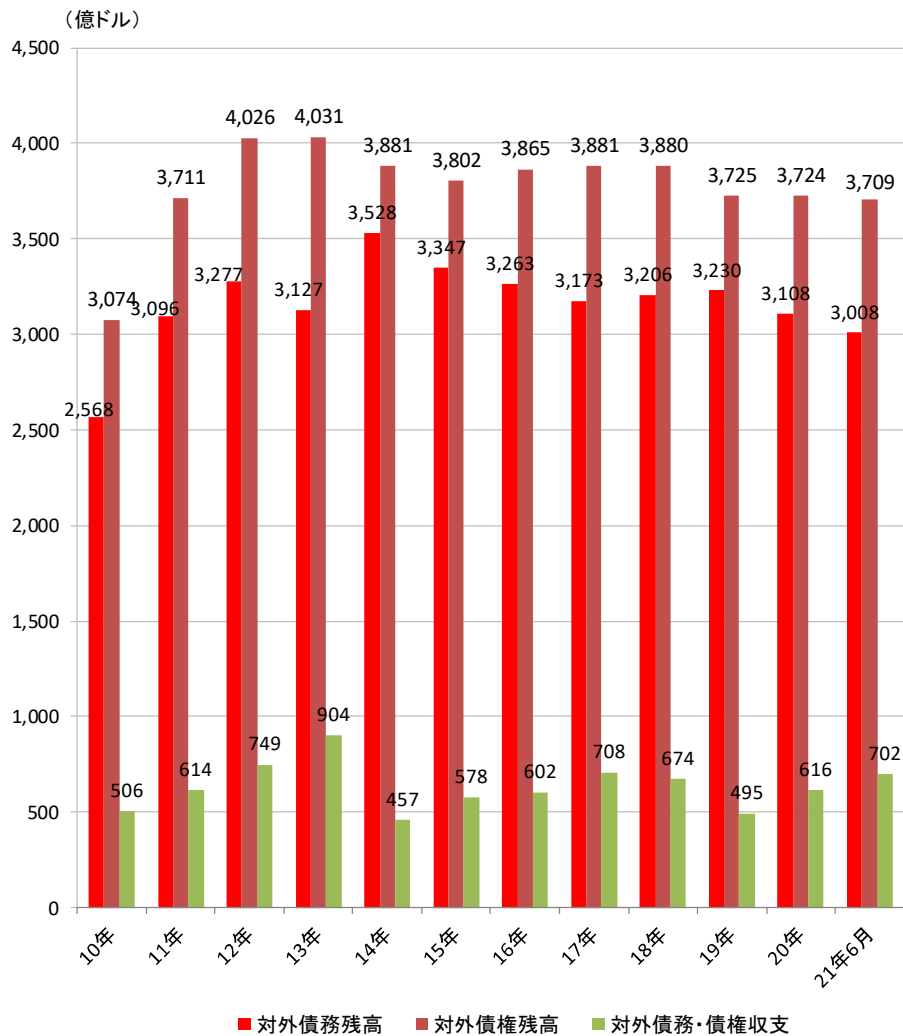
外国直接投資(資本参加分)流入額



対外債務

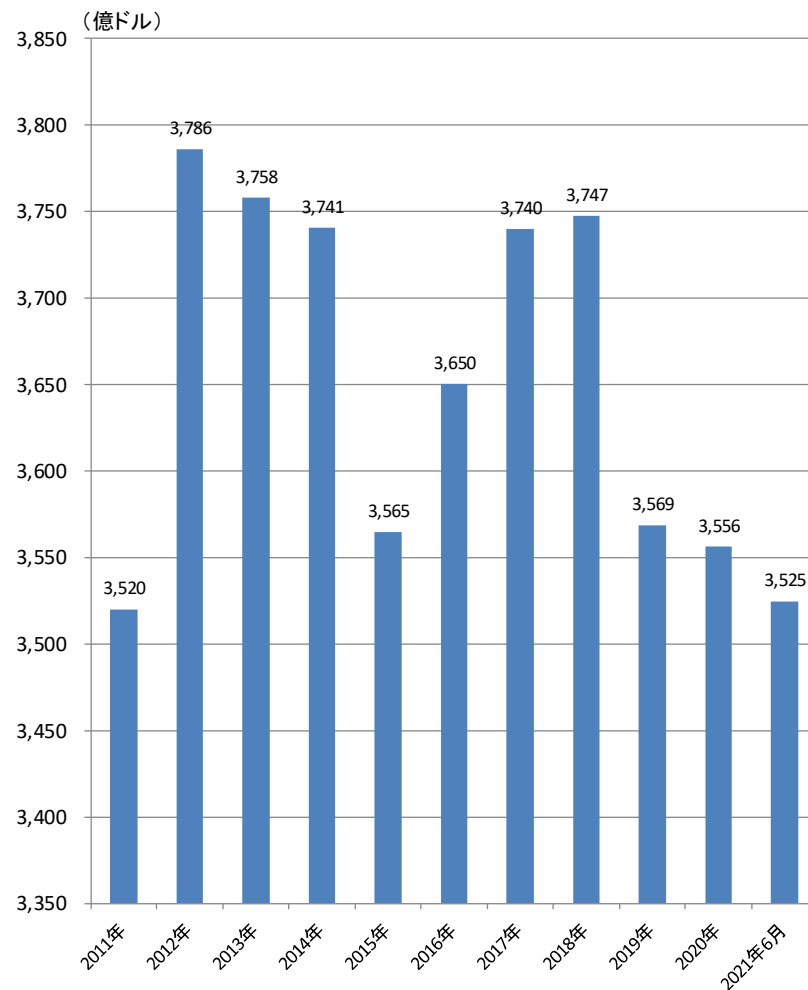
2007年以降は対外債権(外貨準備高、対外融資残高等合計)が対外債務を上回り、純債権国となっている。2021年6月末現在の外貨準備高は3,525億ドル。

対外債務・債権収支



(出典) 伯中央銀行

外貨準備高



(出典) 伯中央銀行

株価・為替の推移

7月の株式市場は、月初125,666から始まり、128,407（7月14日）まで伸びた後、月末（7月30日）には121,801へと推移。

月前半はワクチン調達を巡る不正疑惑や感染拡大による、政治と経済への先行き不安を背景とした下落と、米中の金融緩和策やブラジルの税制改革の進捗期待を背景とした上昇の動きで一進一退。

月後半は、主に鉄鉱石や原油といった資源価格の動向に影響され上下する展開。

7月の為替市場は、5.04リアル/ドル（7月1日）から5.25リアル/ドル台（7月9、19日）で推移した。

月前半は、ワクチンを巡る不正疑惑による政治への先行き不安やデルタ株の感染拡大懸念を背景としたリアル安の動きと、米国の金融緩和策の早期縮小観測の後退によるリアル高の動き。

月後半は、物価上昇やデルタ株拡大による景気回復期待の後退を材料にしてリアル安が進む一方、次回（8月3、4日）の金融政策委員会における政策金利引き上げ幅の予測が従前の75bpから100bpへ拡大したこと、米国金融緩和策が継続するとの見通しからドル安リアル高となる展開。

株価指数 (Ibovespa) の推移



(出典)B3

為替の推移 (対米ドル)



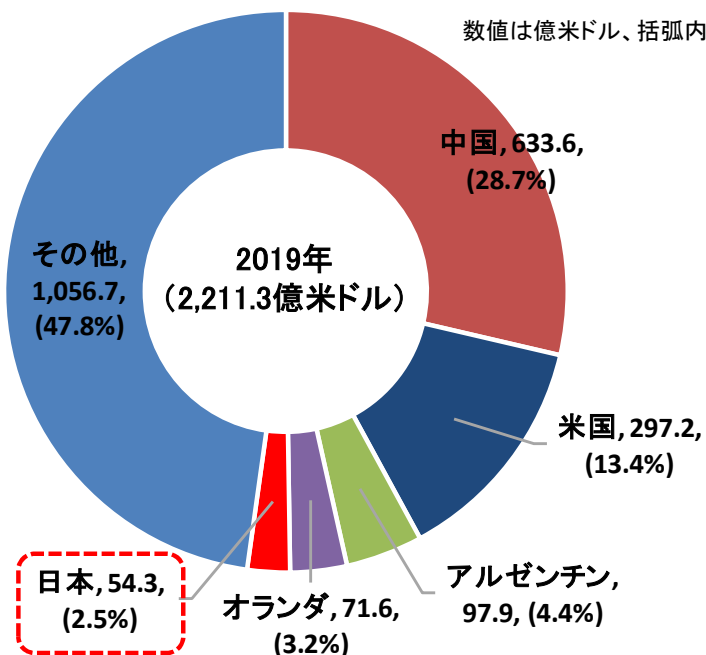
(出典) Bloomberg

Ⅲ. 貿易動向

ブラジルの貿易は、輸出、輸入ともに中国、米国、アルゼンチンが上位に占めている。2020年においては、日本は貿易相手国としては輸出、輸入ともに上位6位となっている。

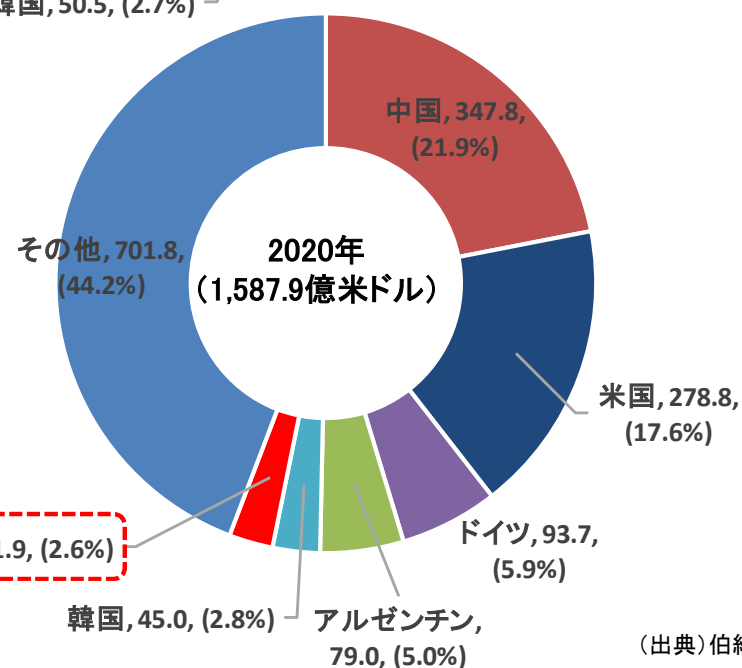
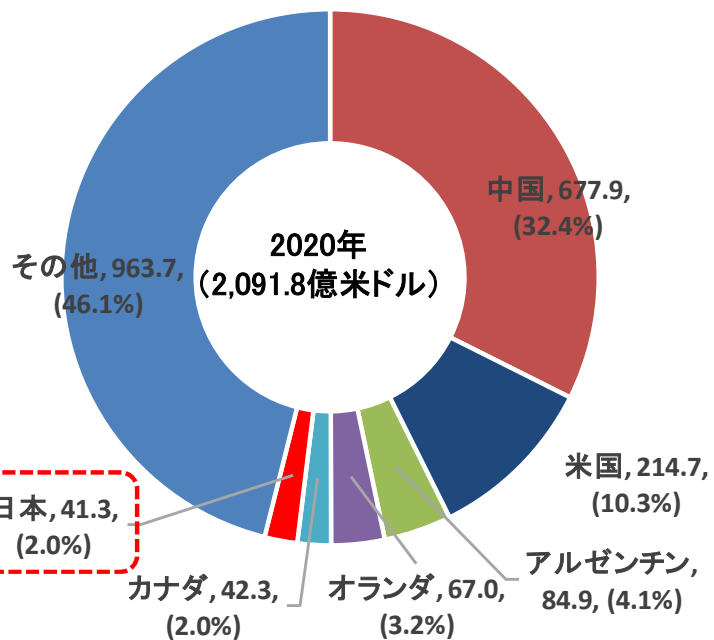
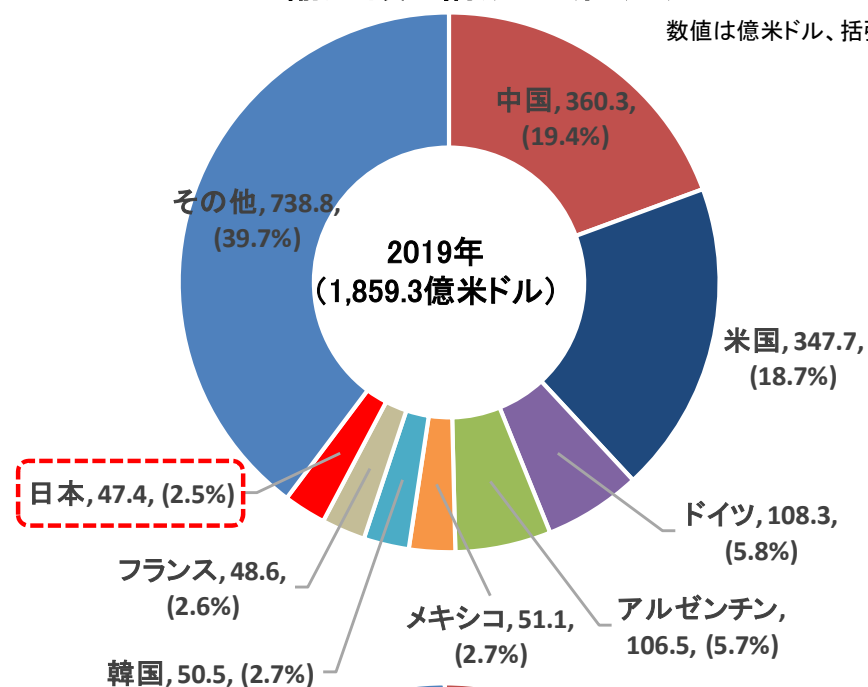
輸出額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



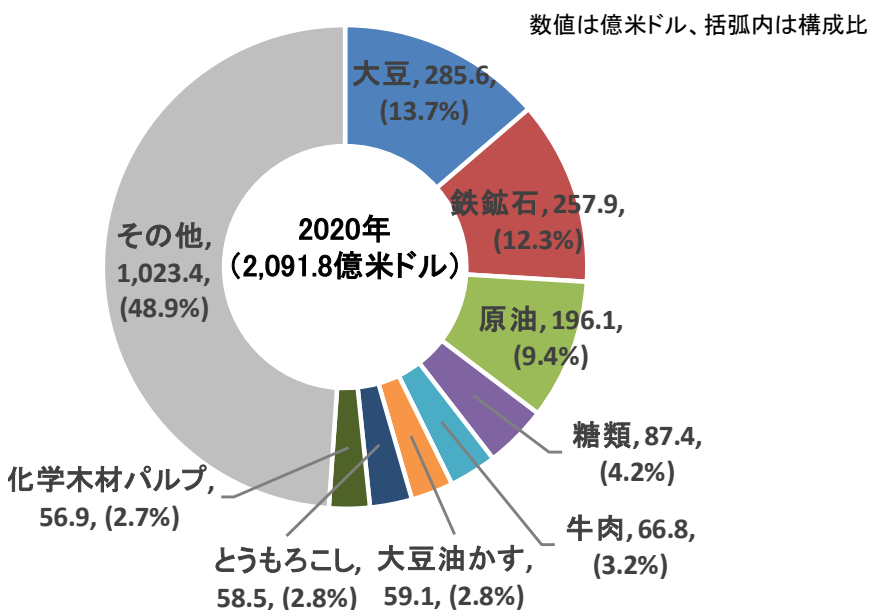
輸入額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比

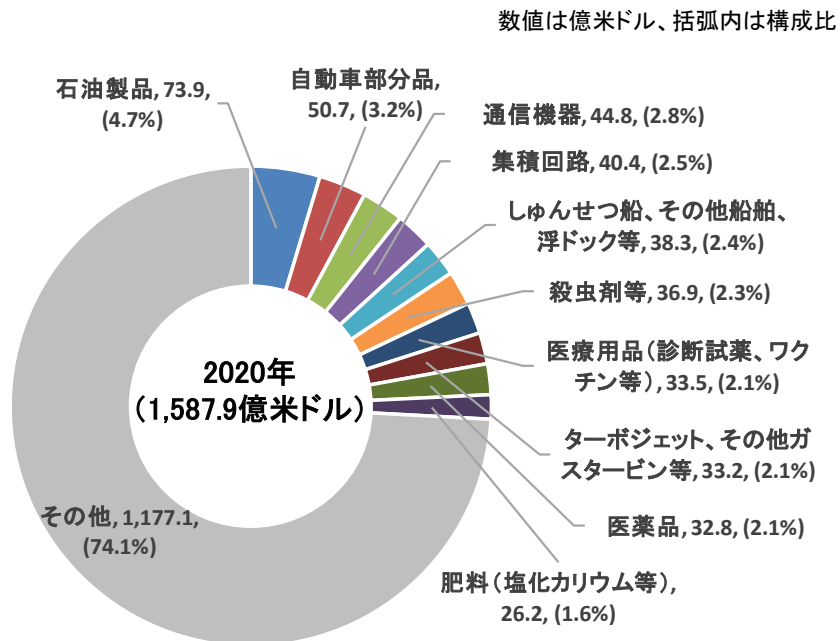


主要輸出品目は食品(大豆、肉類、糖類等)、資源(鉄鋼石、原油等)。主要輸入品目は石油製品、自動車部分品を中心に、電気機器や医療用品など幅広い品目にわたっている。

ブラジルの主要輸出品目と主要相手国



ブラジルの主要輸入品目と主要相手国



【大豆】

	億米ドル	構成比(%)
合計	285.6	100.0
① 中国	209.0	73.2
② オランダ	11.1	3.9
③ スペイン	9.6	3.3
④ タイ	9.1	3.2
⑤ トルコ	7.2	2.5

【原油】

	億米ドル	構成比(%)
合計	196.1	100.0
① 中国	113.5	57.8
② 米国	13.6	6.9
③ インド	12.2	6.2
④ スイス	10.4	5.3
⑤ ポルトガル	9.1	4.6

【鉄鋼石】

	億米ドル	構成比(%)
合計	257.9	100.0
① 中国	185.2	71.8
② マレーシア	16.9	6.6
③ 日本	8.9	3.5
④ オマーン	5.8	2.3
⑤ オランダ	5.7	2.2

【糖類】

	億米ドル	構成比(%)
合計	87.4	100.0
① 中国	12.9	14.8
② アルジェリア	6.7	7.7
③ バングラデシュ	6.3	7.2
④ インド	4.8	5.5
⑤ インドネシア	4.7	5.3

【石油製品】

	億米ドル	構成比(%)
合計	73.9	100.0
① 米国	53.2	72.0
② スペイン	3.4	4.7
③ インド	2.6	3.5
④ オランダ	2.5	3.3
⑤ UAE	1.6	2.2

【通信機器】

	億米ドル	構成比(%)
合計	44.8	100.0
① 中国	28.1	62.6
② ベトナム	7.9	17.6
③ 米国	2.1	4.6
④ 香港	1.2	2.8
⑤ メキシコ	1.2	2.6

【自動車部分品】

	億米ドル	構成比(%)
合計	50.7	100.0
① 日本	6.2	12.2
② 中国	6.0	11.9
③ ドイツ	5.4	10.6
④ メキシコ	5.3	10.5
⑤ 韓国	4.9	9.7

【集積回路】

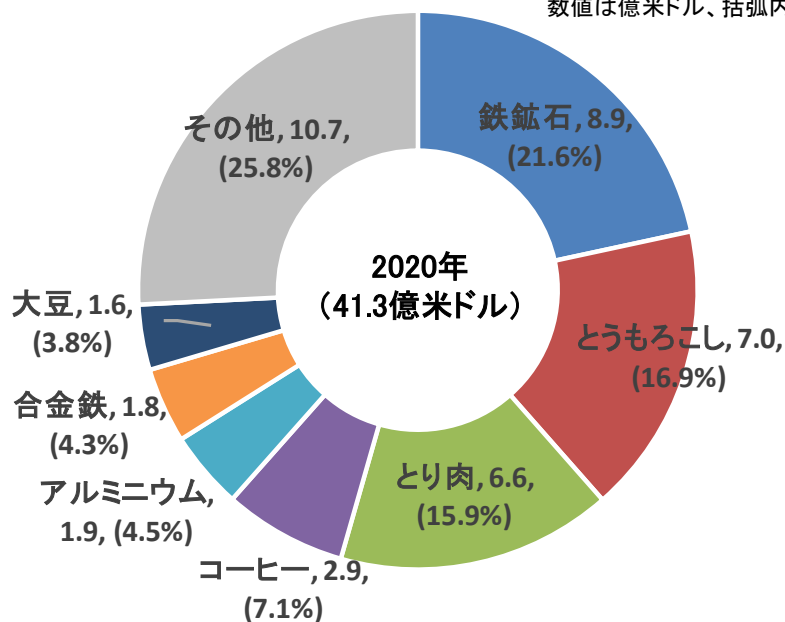
	億米ドル	構成比(%)
合計	40.4	100.0
① 韓国	10.2	25.3
② 中国	9.4	23.3
③ 台湾	8.4	20.9
④ ベトナム	4.7	11.7
⑤ マレーシア	2.4	5.9

対日貿易

対日貿易においては、主要輸出品目は資源（鉄鉱石、アルミニウム等）や食品（大豆、トウモロコシ、肉類、コーヒー等）、主要輸入品目は自動車関連（部分品、完成車）が中心となっている。

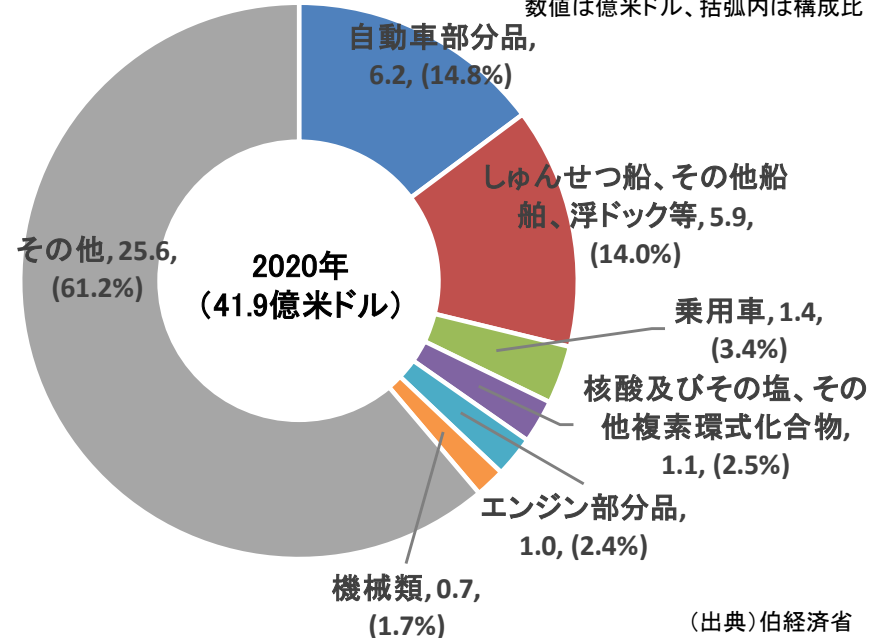
ブラジルの対日本主要輸出品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



ブラジルの対日本主要輸入品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



(出典) 伯経済省

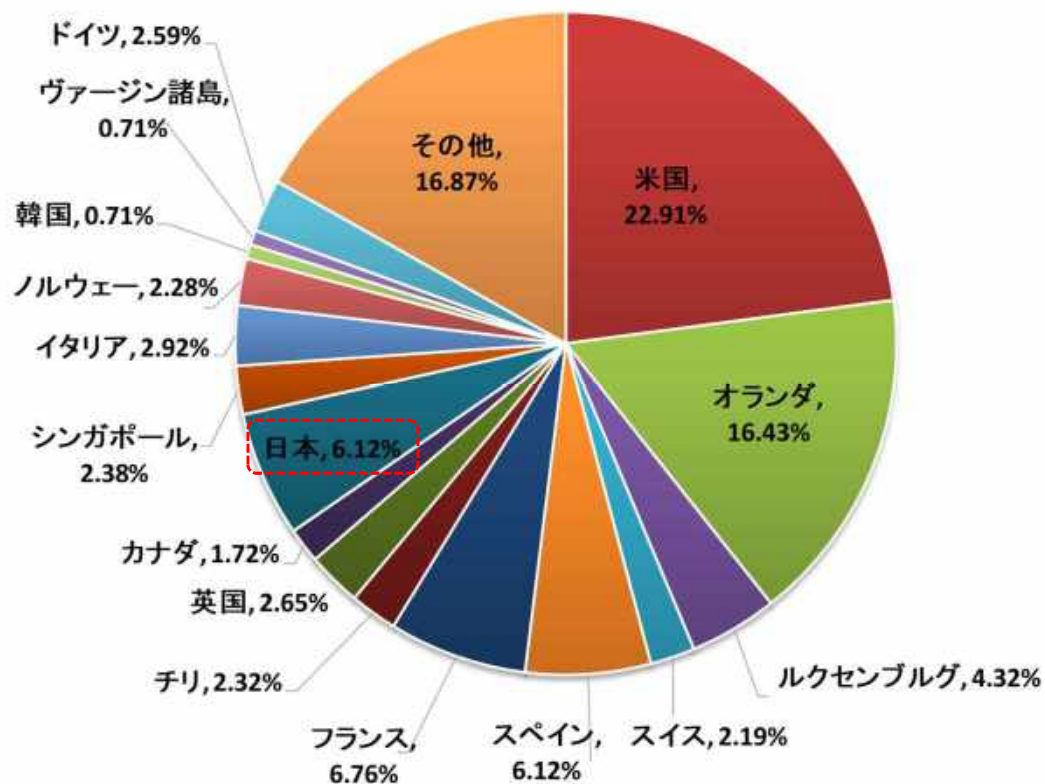
ブラジルの対日本主要輸出品目の日本側から見たブラジルの構成比(2020年)

品目	億円	構成比 (%)	品目	億円	構成比 (%)	品目	億円	構成比 (%)	品目	億円	構成比 (%)
【鉄鉱石】			【とうもろこし】			【とり肉】			【コーヒー】		
合計	10,308.0	100.0	合計	3,515.9	100.0	合計	1,216.5	100.0	合計	1,257.8	100.0
① 豪州	5,382.6	52.2	① 米国	2,245.6	63.9	① <u>ブラジル</u>	791.1	65.0	① <u>ブラジル</u>	326.6	26.0
② <u>ブラジル</u>	3,052.2	29.6	② <u>ブラジル</u>	1,204.9	34.3	② タイ	372.6	30.6	② コロンビア	228.4	18.2
③ カナダ	738.4	7.2	③ 南ア共和国	31.1	0.9	③ 米国	25.1	2.1	③ ベトナム	181.4	14.4
④ 南ア共和国	371.0	3.6	④ ロシア	16.4	0.5	④ ハンガリー	9.8	0.8	④ グアテマラ	106.6	8.5
⑤ インド	208.8	2.0	⑤ フランス	7.5	0.2	⑤ フランス	9.2	0.8	⑤ エチオピア	81.5	6.5
【アルミニウム】			【合金鉄】			【大豆】					
合計	3,825.1	100.0	合計	1,806.2	100.0	合計	1,591.6	100.0			
① ロシア	728.2	19.0	① カザフスタン	385.1	21.3	① 米国	1,158.3	72.8			
② 豪州	633.5	16.6	② <u>ブラジル</u>	236.3	13.1	② カナダ	221.4	13.9			
③ UAE	527.3	13.8	③ ロシア	191.0	10.6	③ <u>ブラジル</u>	184.6	11.6			
④ NZ	356.3	9.3	④ 南ア共和国	186.0	10.3	④ 中国	24.6	1.5			
⑤ 中国	269.5	7.0	⑤ インド	147.3	8.2	⑤ ロシア	2.3	0.1			
⑥ <u>ブラジル</u>	226.8	5.9									

※日伯ともにHS番号4桁の数値。鉄鉱石2601、とうもろこし1005、とり肉0207、コーヒー0901、アルミニウム7601、合金鉄(フェロアロイ)7202、大豆1201

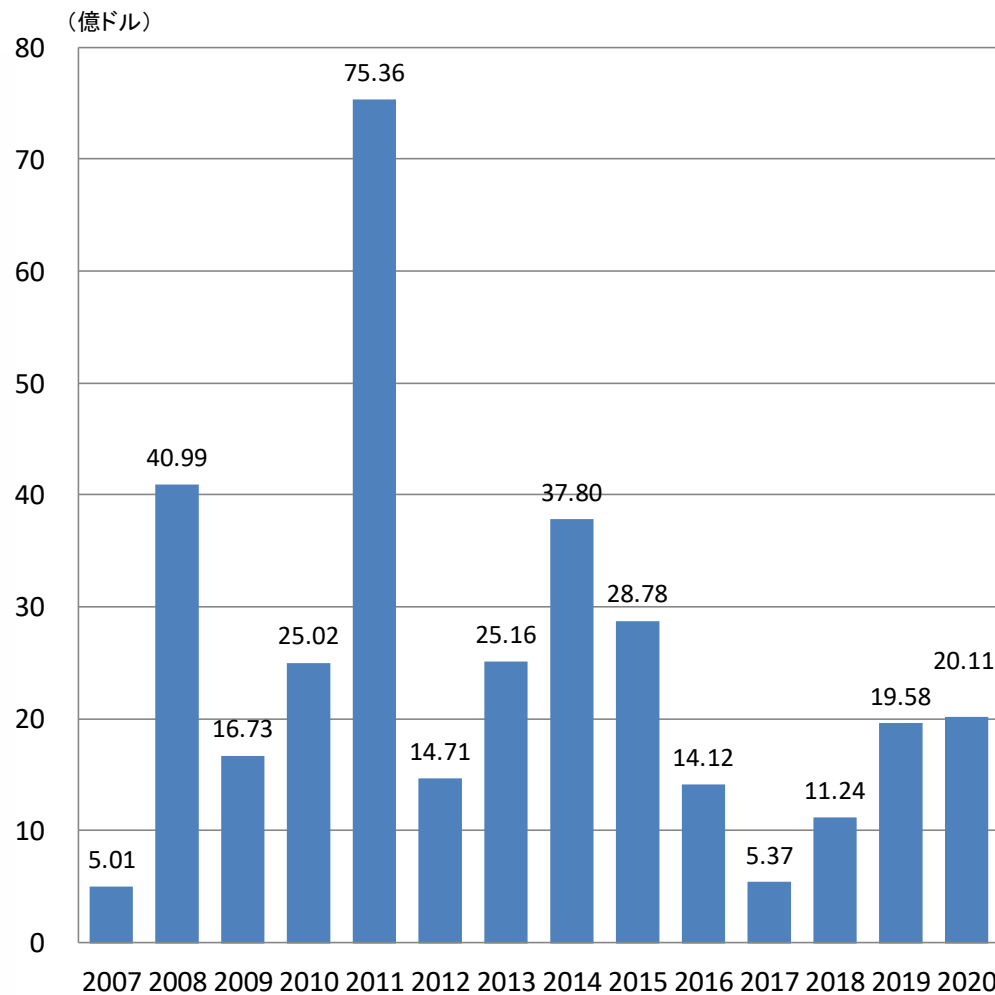
IV. 日伯投資

対ブラジル直接投資(資本参加分)の国別構成比
総額328.69億ドル(2020年)



(出典) 伯中央銀行

日本の対ブラジル直接投資(資本参加分)の推移



(出典) 伯中央銀行